

エックス線 骨密度測定装置(デキサ法) を導入しました!

2018
7/14より
予約
受付中!



デキサ法とは・・・

DEXA法とは、微量なX線を当てて正確な骨密度を測定する、日本骨粗鬆症学会のガイドラインにおいても推奨される優れた検査方法です。この方法は従来の方法(CXD法・MD法)の様に手の骨で測定するのではなく、骨折しやすい腰椎(腰の骨)と大腿骨頸部(股関節の骨)を直接測定し、より重要で正確な診断をすることができます。骨粗鬆症診断のガイドラインでも腰椎と股関節(大腿骨頸部)の計測が推奨されています。

骨粗しょう症

骨が脆くなり骨折の危険性が高くなる病気です。特に背骨の骨折(腰椎圧迫骨折)や足の付け根の骨折(大腿骨頸部骨折)の可能性が高く、それにより痛みが持続したり、歩けなくなり寝たきりになる可能性があります。また、骨が脆くなること自体が寿命を縮めるとも言われています。

以下に該当する方は、骨粗鬆症のリスクが高いとされています。

- ①閉経後、または治療により生理を止めている方
- ②若年期生理不順のあった方
- ③運動不足・若年期に過度の運動をされていた方
- ④常習喫煙・過度のアルコール摂取者
- ⑤甲状腺機能亢進症と診断された方

骨粗しょう症による骨折を防ぐには、早期発見と対処が大切です。

女性の場合、閉経を迎えたら、1年または数年に1回は検査を受けましょう。男性も、一度は受診しておくとお心です。

骨粗鬆症の薬には3つのタイプがあります

1. 骨を壊す働きを抑える薬
2. 骨を作る働きを高める薬
3. 骨の作り替えのバランスを整える薬



多くの薬の中から、患者様の「骨折の危険性」「年齢」「ライフスタイル」などに合わせて選択します。
また、「背骨に効果が高い薬」や「太ももの付け根の骨に効果が高い薬」など、骨折した部位によっても適した薬が異なるので、総合的に判断して使います。

診 療

●初診 2,440円 ●再診 1,580円

健診オプション

4,000円

まずは、職員様・入居者様自身の骨の状態を把握するために検査することをお奨めいたします。